



2015年5月12日

各 位

会社名 ユニチカ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 注連 浩行  
(コード番号：3103、東証第一部)  
問合せ先 経営企画部 部長代理 杉澤 滋  
(TEL 06-6281-5695)

### 特別損失及び特別利益の計上に関するお知らせ

2015年3月期第4四半期において、特別損失及び特別利益の計上を行いましたのでお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 特別損失の計上について

2015年3月期第4四半期連結会計期間におきまして、下記の特別損失を計上いたしました。

##### ① 事業構造改善費用 7,259百万円

当社及び当社グループの豊橋事業所に係るもの及び他の固定資産の減損損失で6,214百万円、その他事業整理損失などもあわせて、連結決算で7,259百万円を計上し、個別決算では減損損失4,252百万円を含め、4,475百万円を事業構造改善費用として計上いたしました。

##### ② 減損損失 3,291百万円

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社及び当社グループの保有する固定資産について将来の回収可能性を検討した結果、当社子会社の尤尼吉可高分子科技（中国）有限公司の固定資産及び他の固定資産について、連結決算で3,291百万円、個別決算で307百万円の減損損失を計上いたしました。

なお、第3四半期連結累計期間までに減損損失で区分表示していた特別損失のうち、連結決算で計上した2,810百万円、単体決算で計上した1,553百万円につきましては、2015年3月期末において、同額を事業構造改善費用に組み替えて計上しております。

##### ③ 子会社の製品不具合の発生の対応に伴う損失 3,708百万円

当社子会社であるユニチカ設備技術株式会社が販売しておりました防火スクリーンにかかわる遮煙性能の未達及び一部認定の不正取得(2014年12月16日公表)の件につき、その対応に要する費用を製品改修引当繰入額として連結決算で3,708百万円計上いたしました。

## 2. 個別財務諸表における特別損失の計上について

当社子会社の事業構造改善等に伴い、貸倒引当金繰入額を 5,317 百万円、関係会社事業損失引当金繰入額を 3,722 百万円、2015 年 3 月期の個別損益計算書に計上いたしました。

また、当社が保有する関係会社株式及び関係会社出資金について、現在の事業環境から今後の見通しを勘案した結果、一部の関係会社株式及び関係会社出資金について、投資回収が長期にわたるとの判断に至り、関係会社株式評価損として 12,319 百万円、関係会社出資金評価損として 1,432 百万円を 2015 年 3 月期の個別損益計算書に計上いたしました。

なお、個別財務諸表における当該損失は連結決算上消去され、連結業績に与える影響はございません。

## 3. 特別利益の計上について

2015 年 3 月期第 4 四半期連結会計期間におきまして、下記の特別利益を計上いたしました。

### ①関係会社株式売却益

当社子会社である株式会社ユニチカ京都ファミリーセンターの株式売却益を連結決算で 484 百万円、個別決算で 1,139 百万円計上いたしました。

### ②事業譲渡益

当社メディカル事業部などの事業譲渡益を連結決算及び個別決算で 925 百万円計上いたしました。

## 4. 業績に与える影響

平成 27 年 3 月期の業績に与える影響につきましては、本日公表の「平成 27 年 3 月期決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。

以 上